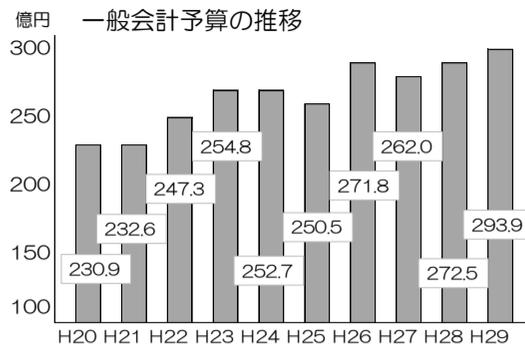




「暮らしが花ひらく生活都市。」は本物が 切実な願いに応える市政に

澤田市長就任後2年。新年度予算では、新体育館建設に28億8千万円を計上。そのための起債（借金）だけで18億8千万円も発行し、予算総額は過去最大規模に膨れ上がりました。市長は施政方針で「暮らしが花ひらく生活都市。」「子育て先進市」をキャッチフレーズに、子育て世代の転入増加をめざす方針を表明しました。



住みよさランキングは642位

全国約800市区の住みよさランキング（東洋経済新報社の都市データパック・2016年度版）では、江南市はなんと642位。2年前の539位よりさらに低下しているのが現実です。

子育て世代が望む経済的な負担軽減は不十分。高齢者の生活の足の確保、浸水対策、新図書館の建設、小中学校のエアコン設置、トイレ改修などの切実な願いは後回しになっています。



あいかわらず名鉄には大盤ぶるまい

財政が厳しいと言いつつ、布袋本町通り線や布袋駅エスカレーターの市費での設置をはじめ、不要・過大な道路拡幅や名鉄への大盤ぶるまいを続けています。

誘致企業に補助金と税減免、雇用増につながるか

江南市安良地区に工場を拡張する市内企業に補助金を支出します。来年度以降、固定資産税まで減免する予定。雇用の拡大にはつながるか不明です。

どう思う？



新体育館の命名権を企業に売る(ネーミングライツ)

江南市は新体育館の完成に合わせ、収入確保のため体育館の命名権を、希望する企業に3年以上の期間契約で売る予定で、その手続きの予算も計上されました。江南市の施設では初めての試みです。



実現しました



学校に車椅子対応の階段昇降車 車いすで通う児童がいる小学校に設置されます。中学校にも小型昇降車を設置。
常設の資源ごみ回収ステーション 資源ごみを常時受け付ける「リサイクルステーション」が環境事業センター（和田町旭）に6月1日より設置されます。
広島平和記念式典に小学生を派遣 8月6日の平和記念式典に、各小学校から代表1名の合計10名と引率の先生2人の12名。繰り返し要望してきました。
スクールソーシャルワーカーを配置 いじめ、不登校、貧困など子どもの問題を、児童相談所など関係機関と連携して支援に当たります。拠点校に当面1名を配置。
保育園の調理室にエアコン設置 草井、古北保育園など5園に設置。そして未設置の9園に早期設置を求めます。
全ての公民館、学供にWi-Fiつき自動販売機設置 施設利用者は無料でWi-Fiが使用できるようになります。

使用料等値上げで市民に4000万円負担増



4月から窓口手数料、公民館、学供、パークゴルフ場などをいっせいに有料化・値上げし、学童保育料も3年かけ段階的に値上げ。新年度はこれだけで市民に約4,000万円もの負担増を押しつけるものとなっています。

これ以上の値上げを中止し、実態に合った減免制度の創設と拡充、利用時間区分を、使い勝手の悪い2時間単位ではなく1時間単位にすることが必要です。

介護の質低下、高齢者は大幅負担増

自公政権の悪政が、市民の医療介護分野を直撃。

介護保険では新年度から要支援1、2のデイサービス、ホームヘルプサービスが、市が行う総合事業に移行。「従来通りのサービス」か、「緩和された（単価の低い）サービス」か、チェックリストにて振り分けられます。

後期高齢者医療では、保険料の軽減措置が縮減され、高額療養費も上限額引き上げで大幅な負担増が押し寄せます。

保育の質低下招く認定こども園参入

江南第2幼稚園が、認定子ども園（幼稚園と保育園の両機能を持つ）に移行するための施設整備の補助金約9,400万円を計上。現在の園庭内に増設し、新たに3歳未満児30人と保育が必要な3歳以上児を受け入れるとしています。

しかし県の認定子ども園認可基準は、3歳以上児の給食を外部搬入でもよいとしており、保育の質の低下と市立保育園への影響が心配されます。

「現代版治安維持法＝共謀罪」反対の請願を市議会が否決

国民救援会尾北支部が提出した「共謀罪法案に反対する意見書の提出を求める請願」を市議会は、5対16の賛成少数で不採択にいたしました。

請願採択に賛成は、日本共産党議員団3人とリフォームの会（社民党・民進党）の計5人だけでした。廃案をめざして、運動することが求められています。

